

国語 小4上

もくじ

第1回	説明文 指示語	4	第11回	説明文 指示語の指し示す内容	100
	五十音図／かなづかい	12		文の基本型	108
第2回	説明文 接続語	14	第12回	説明文 接続語の働き	110
	送りがな／国語辞典の使い方	22		同訓異字	118
第3回	物語文 とき・ところ・人物・できごと	24	第13回	物語文 できごとと気持ち	120
	漢字の成り立ち・漢字の音訓	32		同音異字・同音異義語	128
第4回	物語文 場面の展開	34	第14回	物語文 人物の性格・考え方・生き方	130
	漢字の部首	42		熟語の組み立て	138
第5回	第1回～第4回のまとめ	44	第15回	第11回～第14回のまとめ	140
第6回	説明文 文ごとの役割・文と文のつながり	52	第16回	説明文 全体の内容を正確につかむ	148
	漢字の画数・筆順	60		三字熟語・四字熟語	156
第7回	説明文 話題から要点へ	62	第17回	説明文 文章を読み比べる	158
	漢和辞典の使い方	70		類義語・対義語	166
第8回	物語文 人物の気持ち	72	第18回	物語文 主題を正確につかむ	168
	主語と述語	80		符号と原稿用紙の使い方	176
第9回	物語文 人物の気持ちの変化	82	第19回	詩 詩を味わう	178
	修飾語	90		和語・漢語・外来語	186
第10回	第6回～第9回のまとめ	92	第20回	第16回～第19回のまとめ	188

第1回

説明文 指示語

——五十音図／かなづかい

例題

★ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

ねらい

- ・指示語の働きと、その性質をとらえる。
- ・指示語の内容を読み取れるようになる。
- ・五十音図とかなづかいのルールを覚える。

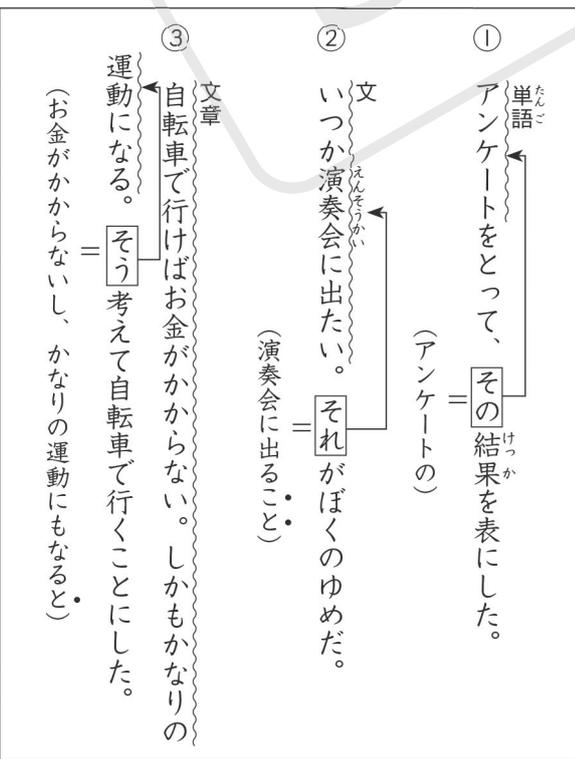
学習の要点

● 指示語（こそあど言葉）

指示語とは、事物・場所・方角や、その他いろいろなものを指し示す言葉で、次のような種類があります。

指すもの	距離	自分に近い	相手に近い	自分と相手から遠い	わからない
事物	これ	①	②	③	④
場所	ここ		そこ	あそこ	どこ
方角	こちら		そちら	あちら	どちら
いろいろなもの	この・こう こんな(だ)		その・そう そんな(だ)	あの・ああ あんな(だ)	どの・どう どんな(だ)

● 指示語が指し示す部分(すぐ前にあることが多い)



※指示語が指す部分をあてはめてみて、意味がとるかたしめます。

1 次の——線の指示語は何を指していますか。文章中から書きぬいて答えなさい。

- (1) 教会の鐘が鳴っている。日曜日に、そこに出かける人もいる。
- (2) 毎日、英会話の勉強をしている。しかし、それが上達しない。
- (3) 早起きをするように言われていますが、自分には、これがいちばん苦手なことなのです。
- (4) 名前をつけることは、ごくあたりまえのこのようですが、よく考えてみると、それには深い意味があるのです。
- (5) 日本では、月や花や雪を美しくえがいた絵が多い。それらは絵の題材として長い間好まれてきたものである。

(5)	(3)	(1)
	(4)	(2)

2 次の——線の指示語について、後の問いに答えなさい。

- (1) 学校の成績だけが能力だということはない。それは能力のごく一部分にすぎない。
- (2) 駅前に公園があります。そこには、日曜日に朝市が立ち、多くの人でにぎわいます。
- (3) 思ったことをただちに実行するのはむずかしいことです。しか

- し、それができる人間になろうと思います。
- (4) 昨日は、交通事故があったらしい。わたしは、今朝、新聞でそれを知った。
- (5) スミス先生の努力は続きました。そして、ついにそれがむくわれる日が来ました。
- (6) ぼくの家があんなことになるとは思わなかった。火事で焼けてしまうなんて、ぼくは今でもゆめを見ているようだ。

問 (1)～(6)の指示語はそれぞれ何を指していますか。()の指定どおりに、文章中の言葉を使って答えなさい。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
(五字で)	(五字で)	(十六字で)	(七字で)	(八字で)	(十一字で)

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(吉良竜夫「熱帯の森が消えていく」より)



問一

——線①「そのため」の「その」は、どの部分を指しますか。文章中から二十八字でさがし、はじめと終わりの五字を書きぬいて答えなさい。

問二

——線②「こういう産物」が指しているものは、いくつあげられていますか。その数を漢数字で答えなさい。

問三

——線③「熱帯林はこうしてなくなっていく」とありますが、その原因にあたるものを次から二つ選び、記号で答えなさい。
 ア 温帯の国々の人が、熱帯でしかできないコーヒーやゴムなどを生産するために、森林を開こうしてしまうから。
 イ 温帯の国々に輸出する木材や作物を作るため、森の樹木を切り、森林を畑にしてしまうから。

ウ 土地を持たない人々が、森の樹木を切りたおして燃やし、畑や牧場にしてしまうから。

エ 経済的にあまり豊かでない人々のために、森林を開こうして、畑を用意する必要があるから。

問四

——線④「それ」が指す内容を、次のようにまとめました。
 □にあてはまる語句を、十字以内で答えなさい。

森林の樹木が □ 作用。

問五

——線⑤「その影響」とは、何の影響ですか。それが指している部分を二十七字でさがし、はじめと終わりの五字を書きぬいて答えなさい。

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

45 40 35 30 25

(末広恭雄「魚の感覚」より、一部省略などがあります)

問一 この文章の話題を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 魚は色を見分けることができるかどうか。
- イ 魚の感覚は、人間とどうちがうか。
- ウ 魚は音を聞き分けることができるかどうか。
- エ 魚は色や音を識別できるかどうか。

問二 1・2 にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

- ア だから
- イ それとも
- ウ ところが
- エ もし

1	2
---	---

問三 線①「それ」が指しているものを文章中から十字以内で書きぬいて答えなさい。

問四 線②「これ」が指しているものを十三字で答えなさい。

問五 A・B にあてはまる言葉を、文章中からそれぞれ二文字で書きぬいて答えなさい。

A	B
---	---

問六 * にあてはまる言葉を、同じ段落中にある言葉を使って、

形をかえて六字で答えなさい。

問七 文章中には、養魚場の番人が心の中で思った部分があります。その部分のはじめと終わりの六字を書きぬいて答えなさい。

問八 線③「この不思議な現象」を説明した次の文の1・2 にあてはまる言葉を、文章中からそれぞれ四字で書きぬいて答えなさい。

養魚場の番人が1 に立つ前から、マスがえさを2 するような様子をする。

1	2
---	---

問九 線④「その日」とは、どんな日ですか。十字以内で答えなさい。

問十 線⑤「えさを使って、いろいろな魚を訓練しながら」とありますが、フリッツシュ博士は、魚が音を聞き分ける能力を調べるために、どんな実験をしたと考えられますか。三十文字以内で答えなさい。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25

20

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50

45

40

35

30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

80 75 70 65 60 55

(注) 自嘲…自分の欠点^{けつてん}などをばかにして笑うこと。

(榎本博明「なぜイヤな記憶は消えないのか」より)

客観的…立場にとらわれず、見たり考えたりすること。

主観的…自分のものの見方、感じ方を重んじていること。

感情価…ある感情が起りやすいという特色があること。

問一

線① 「なぜ、そんなことが起こるのか」とありますが、「そんなこと」とはどんなことですか。「旅行」という言葉を使って答えなさい。

Blank box for answer to Question 1.

問一

線② 「こうした実験結果」について、次の問いに答えなさい。
(1) どんな実験であるかを文章中の言葉を使って答えなさい。

Blank box for answer to Question 1 (1).

(2) 実験結果からわかったことを、文章中の言葉を使って答えなさい。

Blank box for answer to Question 1 (2).

●五十音図

（清音）
（にごらない音）

ワ行	ラ行	ヤ行	マ行	ハ行	ナ行	タ行	サ行	カ行	ア行	ア段
わ・ワ	ら・ラ	や・ヤ	ま・マ	は・ハ	な・ナ	た・タ	さ・サ	か・カ	あ・ア	イ段
(ゐ) (ヰ)	り・リ		み・ミ	ひ・ヒ	に・ニ	ち・チ	し・シ	き・キ	い・イ	ウ段
	る・ル	ゆ・ユ	む・ム	ふ・フ	ぬ・ヌ	つ・ツ	す・ス	く・ク	う・ウ	エ段
(ゑ) (ヱ)	れ・レ		め・メ	へ・ヘ	ね・ネ	て・テ	せ・セ	け・ケ	え・エ	オ段
を・ヲ	ろ・ロ	よ・ヨ	も・モ	ほ・ホ	の・ノ	と・ト	そ・ソ	こ・コ	お・オ	

ん・ン

（半濁音）

ぱ・パ	ば・バ	だ・ダ	ざ・ザ	が・ガ
ぴ・ピ	び・ビ	ぢ・ヂ	じ・ジ	ぎ・ギ
ぷ・プ	ぶ・ブ	づ・ヅ	ず・ズ	ぐ・グ
ぺ・ペ	べ・ベ	で・デ	ぜ・ゼ	げ・ゲ
ぽ・ポ	ぼ・ボ	ど・ド	ぞ・ゾ	ご・ゴ

上の表のように、五つの

母音（あ・い・う・え・お）

にしたがって、清音を十行

にならべたものを、五十音

図といます。

たての列を「行」、横の列

を「段」といいます。

（拗音）

きゃ	きゅ	きょ	しゃ	しゅ	しよ	ちゃ	ちゅ	ちよ	にゃ	にゅ	によ	ひゃ	ひゅ	ひよ	みゃ	みゅ	みよ	りゃ	りゅ	りよ	ぎゃ	ぎゅ	ぎよ	じゃ	じゅ	じよ	ぢゃ	ぢゅ	ぢよ	びゃ	びゅ	びよ	ぴゃ	ぴゅ	ぴよ
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

現代かなづかいのきまりは、発音通りに書くのが原則ですが、次のような例外があるので注意します。

(1) 「何は・何へ・何を」の「は・へ・を」は「ワ・エ・オ」と発音しますが、「わ・え・お」とは書きません。

例 日本は、海にかこまれています。
家へ帰る。 本を読む。

(2) 「ジ・ズ」と発音するものは、ふつう「じ・ず」と書きますが、次の場合は「ぢ・づ」と書きます。

●二つの言葉が合わさってできた言葉

例 鼻+血 || 鼻血（はなぢ）・三日十月 || 三日月（みかづき）
身+近い || 身近（みぢか）
会社+勤め || 会社勤め（かいしやづとめ）

●同じ音が重なっている言葉

例 縮む（ちぢむ）・続く（つづく）
(3) 長くのばす音は、それぞれのかなで書き表しますが、才段の場合

合は「う」か「お」を書きます。

●ふつうの場合

例 おかあさん・おにいさん・ゆうがた・おねえさん
●才段の場合

例 おとうさん・おうさま
氷（こおり）・多い（おおい）・通る（とおる）

(4) 「言う」は、「ゆう」ではなく、「いう」と書き、「行く」は、「いく」とも「ゆく」とも書きます。

問一 次の五十音図について、各問いに答えなさい。

ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア	
①	キ	リ		ミ	ヒ	ニ	④	①	キ	イ
	ル	ユ	ム	フ	⑦	⑤	②	ク	ウ	
②	エ	レ		メ	ヘ	ネ	⑥	セ	ケ	エ
③	カ	ロ	ヨ	⑧	ホ	ノ	ト	③	コ	オ

(1) ①〜⑨にあてはまる文字をカタカナで書きなさい。(とめる・はねる・はらうに注意して、正しい形で書きましょう)

(2) 線①〜③をひらがなに直しなさい。

9	5	1
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
①	6	2
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
②	7	3
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
③	8	4
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

問二 次の各組の言葉の最初の音を五十音順にならばかえ、記号で答えなさい。

(1) エ ウ イ ア
ひつじ 馬 ねこ 犬

(2) エ ウ イ ア
林 川 山 海

(3) エ ウ イ ア
ほうれんそう きゅうり レタス トマト

(3) (2) (1)

↓ ↓ ↓

↓ ↓ ↓

↓ ↓ ↓

問三 次の言葉のかなづかいの正しい方を選び、記号で答えなさい。

(1) 夕月	(2) 地面
イ ア	イ ア
ゆうづき	ぢめん
(3) 先生	(4) 大通り
イ ア	イ ア
せんせい	おおどおり
(5) 底力	(6) 妹
イ ア	イ ア
そこじから	いもうと
(7) 近々	(8) 氷水
イ ア	イ ア
ちかぢか	こおりみず
(9) 鼻血	(10) 遠い
イ ア	イ ア
はなぢ	とおい
(11) 力強い	(12) 東京
イ ア	イ ア
ちからづよい	とっきょう

問四 次の——線のかなづかいが正しい場合は○を、まちがっている場合は正しいかなを書きなさい。

(1) ぼくは、「こんにちわ」とあいさつをした。

(2) 「早くしなさい」と、いつも母がゆう。

(3) 車が近づいて来たので、道のはしに体をよせた。

(4) 勉強けんきょうなくえを買ってもらう。